

「東京都観光産業振興実行プラン2017(仮称)中間のまとめ」の概要

1 策定の意義 (P 1)

- 観光を巡る環境の変化に迅速かつ的確に対応していくことがより必要な状況
- 今後の様々な観光施策を総合的かつ体系的に取りまとめていくことが必要

「東京都観光産業振興実行プラン2017(仮称)」を新たに策定

- 毎年度内容を更新
- 当面の施策に加えて、今後の方向性や目標を記載

2 観光を巡る現状 (P 2～)

- 外国人旅行者数の急増 ➡ この10年間で約 2.6 倍に増加
- 旅行による消費の拡大 ➡ 訪都外国人旅行者の消費額は1兆円を突破
- 拡大する宿泊需要 ➡ 宿泊施設の稼働率は約8割に上昇
- 外国人旅行者の情報収集方法の変化 ➡ ICT化の進展
- 多摩・島しょへの送客の必要性の高まり ➡ 都心以外への送客

3 これまでの取組 (P 13～)

- ・外国人旅行者誘致の展開 ・MICE誘致の推進 ・観光資源の開発
- ・受入環境の整備 ・消費拡大に向けた取組 ・日本各地との連携

4 今後の取組の視点 (P 19～)

- (1) **観光の有力産業化**：観光産業の生産性の向上や人材育成 など
- (2) **新たな観光資源の開発**：新たな視点に立った魅力的な観光資源の開発 など
- (3) **魅力発信と効果的な誘致活動**：東京の魅力を磨き上げ国内外に発信 など
- (4) **受入環境の充実**：受入環境のきめ細やかな充実 など
- (5) **東京の様々な主体の連携強化**：民間事業者、国、区市町村との連携強化 など

5 本プランの目標 (P 22～)

国内外からの**旅行者数**に加えて、新たに**外国人リピーター数**や**消費額**を設定

【訪都外国人旅行者数】 2020年:2,500万人、2024年：3,000万人

【外国人リピーター数】 2020年：1,500万人、2024年：1,800万人

【訪都外国人消費額】 2020年：2兆7,000億円

など

6 観光産業振興に向けた施策展開（P24～）

1 消費拡大に向けた観光経営(P25～)

- 観光事業者の生産性を高める**マーケティング活動**や**ICT導入**を支援
- 観光に関する**ビッグデータ**を活用し、**観光事業者へ提供**
- **旅館ブランド**の発信や**旅館と地域との連携**
- 人材を**マネジメント層**とサービス提供を行う層の両面から育成

2 集客力が高く良質な観光資源の開発(P33～)

- **水辺**の活用、**ライトアップ**による演出、**ナイトライフ観光**の充実
- 地域の観光資源の活用を**複数年度**に渡って**継続的に支援**
- 外国人の関心が高い**アニメ**や**マンガ**などの観光資源の活用
- 多摩・島しょの**自然**や**農林水産業**、**自然公園**を活用した観光振興

3 観光プロモーションの新たな展開(P42～)

- **富裕な旅行者層**の誘致に向けた**プロモーション**や条件整備
- パリやNYのような国際観光都市との**相互観光PR**

4 MICE誘致の新たな展開(P48～)

- **MICE施設の機能強化**に向けた設備導入を支援
- **都立施設**などにおける**ユニークベニュー**の利用促進
- **多摩地域**での**MICE開催**に向けた地域の取組を支援
- **国際会議**等の東京での新たな**立ち上げ**の支援

5 外国人旅行者の受入環境の向上(P55～)

- **多摩地域**での**観光情報センター機能**の整備
- 観光スポットや旅行者の関心に応じた情報提供が可能な**観光アプリ**の開発
- **緊急時や災害時**における外国人旅行者の**安全・安心の確保**
- **アクセシブル・ツーリズム**の充実に向けて**バリアフリー化**等を推進
- **ハラル**など多様な文化や習慣への対応

6 日本各地と連携した観光振興(P64～)

- 東京と連携を図る**対象エリア**を拡大
- 東京とその周辺を巡る**広域的な観光ルート**の設定